

第2章

【目指す子供の姿を五者で共有】実践例

全職員で重点的に育成を目指す資質・能力を共有する取組

～御船町立御船小学校～

グランドデザインに示されている「育成を目指す3つの力」について、共通理解を図るためにワークショップを行い、目指す児童像についてイメージ化の共有を図っている。そのことで、児童への日常の言葉かけ、授業の指導方法、学習指導過程などにおいて、教職員の軌を一にした指導が可能となっている。

【目指す児童像を言葉で表出】



「自立の力」「協働の力」「創造の力」の3つについて「児童がどのようなことをしたときに、その力が付いたといえるか」という問いについて、一人一人の教師が付箋に考えを書きました。

【グループ内での共有】



グループを作って考えを出し合い、互いのイメージを認め合いながら話し合うことで、「目指す子供像」のイメージを広げることができました。

【全体での共有】



全体での共有を図るために、グループ同士で考えを聞き合いました。
※一人はグループに残って説明。他は、他のグループに移動し説明を聞く。

実践化



目指す児童像が共通認識できると…

- 日常指導において、校長の方針に沿って一致した言葉かけや指導が可能となりました。
- 研究授業等において、児童を見取る評価の視点が一致し、授業後の協議の質が高まり、検証の精度が上がっています。